

第12回北海道病院学会
平成24年6月30日

精神科閉鎖病棟における 服薬自己管理の取り組み

医療法人社団 五稜会病院
発表者: 小黑たか子
共同研究者: 藪内裕介・土屋由美子

五稜会病院 紹介

五稜会病院 精神科単科
病床: 193床

- 急性期病棟: 38床
- ストレスケア・思春期病棟: 48床
- 療養病棟(開放): 54床
- 療養病棟(閉鎖): 53床

平均年齢: 53歳
5年以上: 32%

入院期間	患者割合
1年未満	26%
5年未満	42%
5年以上	32%

I .はじめに

長期入院は生活の場が院内・病棟に限局されるため...

- 社会生活に必要な能力が使われない
- 受身的になり、認知力が低下しやすい
- 新しい居場所に不安を感じ、退院する意欲を奪ってしまう

↓

主体性や理解力の改善、退院後の生活スキルを高めるため、患者自身による服薬管理への取り組みを行ったので考察を加え発表する

II .服薬自己管理の目的

- 薬物療法の必要性を理解する
- 自ら病気を治すという意識付け
- 退院への意欲と退院後の再発予防

III 対象者

- 病状が安定している
- 拒薬がない者
- 自己管理に興味・意欲がある人

IV 服薬自己管理の手順

同意を得る段階	自己管理者の決定 主治医の同意 本人・家族の同意
開始の準備段階	マニュアルにて説明 保管ケース準備 服薬カード・薬説明書準備
実施の段階	薬を渡す 看護室前で服薬確認 日々のサポート

V 服薬自己管理の工夫

- 理解しやすい工夫
簡素化したマニュアル・服薬カードの作成
内服時の錠数の提示・頓服の薬品名の提示

服薬時間	錠数	特記事項
朝	1錠	① チスポン1錠/2回まで ② ホリゾン(5)1錠/3回まで ① ビコスルファートナトリム15滴～ アローゼン0.5g～
昼		
夕	3錠	
夜	2錠	胃もたれ時 本人用セルベックス1日2包まで

V 服薬自己管理の工夫

■ 飲み間違い予防の工夫

内服の1包化・小袋にまとめる・分包紙は切り離さない

■ 長期に楽しく飲める工夫

薬保管ケースを手作りする・薬保管ケースの飾り付けは自由にする



VI 結果

- 現在病棟の入院患者の半数が、服薬自己管理をしている
- 施設できない保管場所でも、トラブルや患者への不利益は生じなかった
- 参加人数が増えていくに従い、自分もしたいと言う患者が出てきた
- 一生入院したいと希望していた患者が、退院はできると言う気持ちになってきている
- 自己管理の成功体験が患者の自信に繋がってきている

VII 考察

- 服薬自己管理の導入において、患者の立場に立った工夫や長期的利用への工夫が効果的だった
- 患者の潜在能力の高さを知り、看護師の意識向上に繋がった
- 服薬自己管理は、自主性、退院意欲、治療への参加意識など、患者の潜在能力を引き出す効果がみられた

VIII 終わりに

- 社会復帰するためには、自分で病状をコントロールしていくことが必要であり、入院中の服薬自己管理には、主体性を育み退院意欲に結びつく効果が見られた。